

子どもたちに将棋の楽しさを！ 目指せ将来の棋士
「第11回 J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」
審判長に羽生善治九段を迎え 全国大会優勝者が決定
～全国大会の模様を「囲碁・将棋チャンネル」と「J:テレ」(J:COM テレビ)で放送～



決勝戦の対局の様子



左から羽生善治九段、優勝者の宮間遥都さん、竹部さゆり女流四段

JCOM株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)、株式会社囲碁将棋チャンネル(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:倉元 健児)、公益社団法人日本将棋連盟(東京都渋谷区、会長:佐藤康光九段)は、人気漫画『3月のライオン』(白泉社刊)とコラボレーションし、小中学生を対象とした将棋大会「第11回 J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」の全国大会を、審判長に将棋界のレジェンド羽生善治九段を迎え開催しました。

2022年7月から全国7都市で地区大会を開催。473名の子ども棋士が参加し、各地区大会の代表16名が将棋会館(東京)で2022年11月12日(土)に開催された全国大会に出場しました。ハイレベルなトーナメントを制し東海大会代表で三重県出身の宮間遥都さん(中学1年)が優勝を飾りました。決勝戦の様子は2023年2月18日(土)20時より「囲碁・将棋チャンネル(J:COM TV 700ch)」、同年2月下旬に、J:COMのコミュニティチャンネル「J:テレ」で放送します。

これまで本大会に参加した選手の中からプロ棋士も誕生しており、レベルの高い真剣勝負が毎年繰り広げられます。審判長の羽生九段も「全体的にレベルが高く、大人が参加しても苦戦する大会だった」と評するなど、充実した大会となりました。

「J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」は、小中学生に将棋の楽しさを広めるとともに、将来の棋士を目指す小中学生の登竜門となることを願って2012年から開催しています。全国大会(決勝大会)への出場をかけた地区大会の上位入賞者が全国大会に挑みます。本大会は小中学生が垣根なく対戦することを特徴とし、今年は、敗退してしまった選手が自由に対局を楽しめる「親善対局」コーナーを3年振りに復活させ、1日を通して将棋を楽しむ機会を子どもたちに提供しました。

J:COMと囲碁・将棋チャンネルでは、これからも「J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」を通じて子どもたちの夢の実現のため、楽しく学び、友情を育む機会を創出するとともに、大会を通じて将棋の普及に貢献してまいります。

<優勝者 宮間遥都(みやまはると)さん(中学1年)のコメント>

本大会で優勝することができて、最高に嬉しいです。コロナ禍で対面での対局が減り残念な思いをしていたので、楽しさを改めて感じました。本大会では、すべて集中して取り組むことができたことが勝因だと思います。プロ棋士を目指して、これからも将棋に打ち込んでいきたいと思っています。

<審判長・解説 羽生善治九段からのメッセージ>

J:COM杯は小中学生ならどなたでも参加でき、また地区予選から全国大会に進むという、各地の人と対面での対局ができることが特色の一つだと感じています。自分の子どもの頃は、全国規模の大会が年に1回の小学生将棋名人戦だけでした。今は全国形式の大会が増え、各地の強い子たちと交流する機会があるのは良いことだと感じています。昨今、対局はインターネットでもできますが、リアルな場で指せることは、子どもたちの成長、思い出、記憶に重要なことではないでしょうか。また、今年の全国大会出場者の半分以上が小学生で、小さくても強い子が増えているという最近の傾向を感じました。

<子どもたちへのメッセージ>

将棋を指し始めたお子さんについては、まずは、囲い、詰み、戦法などの基本をしっかりと覚えることから始めてほしいと思います。本で勉強するのも良いですし、周りから教わるのも良いかもしれません。

レベルアップを目指すお子さんたちは、実戦の場を多く経験し、また自分の将棋を棋譜におこして将棋の流れを覚えることもお勧めします。



左から竹部女流四段と羽生九段
決勝戦の大盤解説の模様

<MC・伊藤かりんさん(将棋親善大使)からのメッセージ>

本大会を観戦して、想像以上に子どもたちの真剣な姿勢を目の当たりにし、私も緊張してしまいました。全国の地区大会から勝ち進んだみなさんですので、一局でも多く指したい気持ちがあったのではないのでしょうか。勝敗が決した瞬間は、胸が熱くなりました。これからも、将棋を楽しんで棋士を目指していただきたいと思っています。



<大会概要>

| | |
|----------|---|
| 大会名 | 「第11回 J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」 |
| クラス | 全国クラス:地区大会の成績上位者が全国大会に進出 |
| 地区大会 | 北海道大会(札幌)、東北大会(仙台)、関東大会(東京)、東海大会(名古屋)、関西大会(高槻)、中国大会(広島)、九州大会(福岡) |
| 全国大会 | 2022年11月12日(土) 会場:東京将棋会館(決勝戦を以下日時に放送) |
| 特設サイト | https://www2.myjcom.jp/special/user/event/kids-shogi/ |
| アーカイブページ | 過去の大会記録や、全国大会決勝戦の棋譜、全国大会特番映像などが確認できるアーカイブページを開設しています。是非ご覧ください。 https://www.jcom.co.jp/corporate/csr/shogi |

<放送概要>

| | |
|-------|--|
| 番組名 | 『第11回 J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会』 |
| 放送予定① | 2023年2月18日(土) 20:00~(予定) 「囲碁・将棋チャンネル」(J:COM TV 700ch) |
| 放送予定② | 2023年2月下旬 「J:COMテレビ」 「J:COM」の有料サービスの加入・未加入を問わず、「J:COM」のネットワークが接続されている建物にお住まいであれば、無料でご視聴いただけます。 《チャンネル番号》 札幌・仙台・関東エリア:10ch、関西・福岡・北九州エリア:12ch、下関エリア:111ch、 熊本エリア:11ch ※大分ケーブルテレコムエリアでは、ご視聴いただけません ※視聴可能エリアの確認 https://www.jcom.co.jp/area_search/ |
| 詳細ページ | https://www2.myjcom.jp/special/user/event/kids-shogi/ |

参考情報

『3月のライオン』について 公式サイト:<https://3lion.younganimal.com/>

主人公・桐山零は17歳のプロの将棋の棋士。幼い頃、事故で家族を失った零は心に深い孤独を抱え、将棋に対する中途半端さを思い悩みながら日々を過ごしていた。そんな中で出会った川本家の3姉妹(あかり・ひなた・モモ)と接するうちに、零の心は少しずつ溶け始めていく……。河の流れのように進む優しいラブストーリーです。2007年から青年コミック誌『ヤングアニマル』(白泉社)にて連載中。将棋監修/先崎学九段。取材協力/日本将棋連盟。2011年に第4回マンガ大賞、第35回講談社漫画賞一般部門、2014年に手塚治虫文化賞マンガ大賞、2015~17年にダ・ヴィンチBOOK OF THE YEAR(コミックランキング1位)を3年連続で受賞。2016年にTVアニメ化、2017年に前後編で実写映画化。2021年には第24回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞を受賞。



JCOM株式会社について www.jcom.co.jp/

JCOM株式会社(ブランド名J:COM、本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社65局を通じて約562万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,209万世帯です。番組供給事業においては、14の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。※世帯数は2022年9月末現在の数字です。

<J:COMの将棋に関する取り組み>

J:COMは、経営方針にて「challenge(挑戦)」を掲げています。将棋界を担う若手の「挑戦」を応援する思いを込めて、棋士の養成機関である奨励会への支援を昨年より開始しました。

奨励会から四段に昇段し棋士となった方々へ、これまでの研鑽への敬意と今後の活躍を祈念して贈る「J:COM賞」の贈呈も継続して実施しています。4月に昇段された岡部怜央四段及び徳田拳士四段については、本大会の地区大会において贈呈式を行い、今後の大一番で着用していただくことを願って「仕立券付スーツ服地」を贈呈しました。さらに、10月に昇段された藤本渚四段及び斉藤裕也四段についても、贈呈式を今後おこなう予定です。

また当社は「J:COM杯3月のライオン子ども将棋大会」を創設し継続開催していることや、前記奨励会への支援、「J:COM賞」を創設したことに対して第47回「将棋の日」表彰・感謝の式典において、公益社団法人日本将棋連盟より団体の部の感謝状の授与を受けました。

囲碁・将棋チャンネルについて <https://www.igoshogi.net/>

1990年8月2日設立、J:COM、ケーブルテレビ、スカパー!、ひかりTVで視聴できる囲碁と将棋の専門チャンネル。囲碁・竜星戦、将棋・銀河戦の対局を中心に、棋譜解説番組や講座、棋力認定番組など、24時間365日放送している、日本で唯一の専門チャンネルです。